



気仙沼 NN 通信



「気仙沼 NN 通信」は、気仙沼地方振興事務所農業農村整備部の広報広聴活動の一環として、主に気仙沼管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせするものです。掲載内容についてお問い合わせなどありましたら、お気軽に当部（農村整備第二班）まで御連絡ください。



【農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備） ：南三陸地区（廻館工区）での田んぼアート＜稲刈り＞】

平成 30 年 10 月 13 日に田んぼアート「オクトパス君」の稲刈りが行われました。

田植えから約 5 ヶ月が過ぎ、稲の色もすっかり変わっていました。緑の苗として植えていたひとめぼれは営農組合の方々が事前に刈り取りを行い、当日の昼食におにぎりとして振る舞われました。オクトパス君を描いた茶色の稲と黄色の稲は、参加者で協力して刈り取りました。

地面から垂直に立てた棒に稲を十字にかけて乾燥させる「棒掛け」も行いました。田植えに引き続き、稲刈りにも参加していただいた方も多く見られ、スムーズに刈り取りが進みました。



秋色に色づいたオクトパス君（H30. 10. 13 撮影）



稲刈りの様子（H30. 10. 13 撮影）



【南三陸町西戸川地区 ：鹿児島県復旧復興派遣職員記念植樹】

平成 30 年 10 月 17 日に、南三陸町の東日本大震災西戸地区復興祈念公園で、鹿児島県復旧復興派遣職員記念植樹が行われました。

震災から本年まで、鹿児島県から気仙沼地方振興事務所及び気仙沼市へ農業土木派遣職員 49 名の応援をいただき、ほ場整備事業など復旧復興に携わる業務をご担当いただきました。（次ページへつづく⇒）



東日本大震災西戸地区復興祈念公園（H30. 10. 17 撮影）

(前ページからつづき)⇒ 創造的復興に取り組んでいる宮城県に対し、鹿児島県から「更なる復興を願って記念植樹を」とのご提案があり、今回の実施となりました。植樹は鹿児島の県木「クスノキ」、県花「キリシマツツジ」、同県で植えられている「ヤクシマシャクナゲ」の 3 本に代表者が土をかけ、植えられました。鹿児島県、宮城県、気仙沼市、南三陸町の関係者と地域住民の方々が参列し、一杯ずつ水を木に与える「奉水」も行われました。植樹をした祈念公園の管理をしている「あじさい会」の皆さんは、「地域の美化に努めたいと思い公園内外にあじさいやコスモスなどの花を植えていました。植樹された木々の管理も今後私たちで行います。」と話していました。



植樹の様子 (H30. 10. 17 撮影)



奉水の様子 (H30. 10. 17 撮影)



【 高原病性及び低病原性鳥インフルエンザ<防疫演習> 】

平成 30 年 10 月 22 日に、南三陸町ベイサイドアリーナで、平成 30 年度高原病性及び低病原性鳥インフルエンザ気仙沼現地地方支部防疫演習が行われました。この実習は、鳥インフルエンザの発生時における防疫対応を円滑に進めるために開催されました。

実際の防護服を着て、作業手順を確認しました。防護服(2枚)・マスク・手袋・ゴーグル・目張りをして、しっかりと作業員の身を守れるように装着して演習を行いました。

発生した際のまん延防止措置については、疑似家畜確定から 24 時間以内に家きんの殺処分、72 時間以内に焼埋却を行う必要があります。迅速な対応はもちろんのこと、作業員の安全にも考慮した真剣な演習となりました。



防護服の着用 (H30. 10. 22 撮影)



動線確認の様子 (H30. 10. 22 撮影)



【 高原病性及び低病原性鳥インフルエンザ＜埋却演習＞ 】

平成 30 年 10 月 31 日に、防疫演習に引き続き、宮城県建設業協会気仙沼支部による埋却演習が行われました。参加人数は 60 名ほどでした。

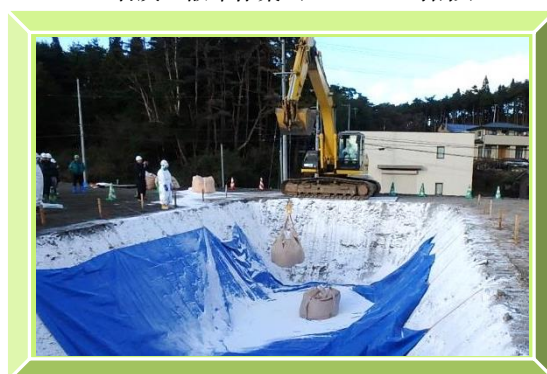
殺処分された家きんをすみやかに埋却処理するための埋却穴(下幅 4m(上幅約 7m)、深さ 3m、長さ 10m)を掘削し、実際の作業をイメージした訓練を行いました。

今回の演習では事前に掘削していた埋却穴へ、殺処分した家きんを想定したフレコンパックの投入、及びブルーシートの敷設や消石灰の散布作業を実施しました。

今後、鳥インフルエンザへの対応が必要となった場合も、まん延防止措置をしっかりと行えるように確認できた演習となりました。



石灰の散布作業 (H30. 10. 31 撮影)



フレコンパックの投入 (H30. 10. 31 撮影)



【 中山間地域等農村活性化事業 住民活動支援事業 ：赤岩地区でのドローン農薬散布デモンストレーション 】

平成 30 年 11 月 15 日に、赤岩地区羽田集落でドローン防除(ドローンを用いた農薬散布)のデモンストレーションを行いました。

今回のイベントでは、中山間地域における農家の高齢化や担い手不足による「農作業の負担軽減」という課題に対応するため、実施したものです。当日は実際に耕作されている羽田地内の水田に、水を薬剤に見立てての散布となりました。(10a/約 0.8 リットル)

稲から高さ約 2~3 メートル、散布幅約 4 メートルで、約 25a の田んぼ 2 筆を連続して飛行し、約 5 分で散布が終わりました。

実演を見学した羽田地区代表の方は、「ドローンが良いものということは分かった。実用化に向けて検討し、今後もより良い地域としていきたいと思う。」と話していました。



農薬散布用ドローン (H30. 11. 15 撮影)



散布の様子 (H30. 11. 15 撮影)



【 中山間地域等直接交付金事業： 平成 30 年度宮城県中山間地域等直接支払協定活動支援研修会 】

平成 31 年 2 月 6 日に、「平成 30 年度宮城県中山間地域等直接支払協定活動支援研修会」を気仙沼合同庁舎で開催しました。同研修会は中山間地域等直接支払交付金事業に取り組んでいる組織の第 5 期への継続促進、および気仙沼管内の課題となっている鳥獣害や事務負担への対策提示を目的とし、気仙沼市、登米市そして南三陸町から約 70 名の方が参加しました。

事例発表「鳥獣害対策について」では七ヶ宿町湯原集落協定代表の山田様から、交付金を利用して電気柵などを設置し、人手を援農ボランティアで募るといった地元主体の活動をなさっていると事例を交えた発表をいただきました。講演「事務サポートについて」では河南矢本土地改良区工務課の菅原様から、多面的機能支払交付金事業で取り組んでいる広域化組織との事務委託契約について、ご講演いただきました。

質疑応答では制度について具体的な質問が挙げられ、事業へ真剣に取り組んでいる様子が見られた研修会となりました。



各組織からの参加者（H31. 2. 6 撮影）



講演の様子（H31. 2. 6 撮影）



【 農山村集落体制づくり支援事業 ： 上前木自治体・八瀬地区との意見交換会 】

平成 31 年 2 月 19 日に上前木自治体に対して、平成 31 年 2 月 27 日に八瀬地区に対して、意見交換会を実施しました。

平成 31 年度集落体制づくり支援事業の新規組織として、事業の概要を説明し、地元の方々からは現在の地域の状況等の聞き取りを行いました。

今後は地域資源ワークショップや参集範囲を広くした意見交換会を行い、支援の方向性について検討していく予定です。



意見交換会の様子（H31. 2. 27 撮影）



【中山間地域等農村活性化事業（住民活動支援業務） ：赤岩地区との成果発表会】

平成 31 年 3 月 7 日に、赤岩地区の水梨集落・羽田集落・上金取集落に対して平成 29 年度・平成 30 年度の 2 ヶ年で実施してきた中山間地域等農村活性化事業（住民活動支援業務）のまとめとして、地元への成果発表会を行いました。

2 年間で取り組んだワークショップやデモンストレーション、意見交換会などの事業内容を踏まえ、今後の支援の在り方を、①農作業に対する対策、②活動に対する支援、③基盤整備の取組としました。

地元集落の代表者からは、「地域の将来が心配。自分たちが動けるここ 5 年のうちに、若い人たちが農業をやりやすくなるような環境を作りたい。」との意見があり、今後の赤岩地区の取組についても活発な意見が出た発表会となりました。



意見交換会の様子（H31. 3. 7 撮影）



【 水土里の恵みカード】

「水土里の恵みカード」とは、県内各地域の農産物と、農業水利施設または農地整備事業等について紹介するものです。気仙沼地方振興事務所では、このうち「南三陸ねぎ」・「南三陸米ひとめぼれ」の 2 種類の配布を行っています。道の駅等での配布については、今後ホームページにてご紹介予定です。



宮城県気仙沼地方振興事務所農業農村整備部（編集：農村整備第二班）
〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢 4 7 - 6
TEL：0226-25-8106
FAX：0226-22-1608
URL：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-m/



だて正夢
平成 30 年秋本格デビュー